

令和5年度第1回 新発田市地域公共交通活性化協議会 路線運賃協議分科会 議事録

1 日 時 令和5年12月25日（月）午前11時00分～午前11時15分

2 場 所 新発田市役所5階 会議室501～502

3 出席者

委 員	所属団体・職名	備考
太田 貴輝会長	新発田市市民まちづくり支援課長	
高野 健太委員	新潟交通観光バス（株） 新発田営業所長	
山田 一輝委員	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局首席運輸企画専門官	代理出席：運輸企画専門官 渋谷委員
渡辺 肇委員	川東地区自治連合会	

事務局（市民まちづくり支援課）

石井広通室長、田中俊介係長、蒲木みゆき係長、新保恭子主事

4 会議概要

（1）開 会

（2）会長挨拶

活性化協議会終了後にお残りいただきましてありがとうございます。

10月に法改正がなされ、現在進めているコミュニティバスについて、法律に則って事務をしなければならないと考えている。

今後も引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

（3）議 事

【第1号議案】紫雲寺地域公共交通見直し後の運賃について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・これまでの新発田版デマンド方式の先行地区と同一の運賃体系として、料金の境界を越える乗車を300円、越えない乗車を200円。小中学生を半額、未就学児を無料とし、手帳提示により本人と付添人を半額、10円未満の端数を切捨としたい。
- ・この運賃体系について、市ホームページで意見聴取を行い、意見を反映させた後、書面にて委員の皆様にご協議いただきたいと考えている。

○委員

手帳提示で無料ではなく、半額ということで良いか。

○事務局

市街地循環、菅谷・加治、川東のバス車両で運行している路線では、手帳提示により無料であるが、新発田版デマンド方式の運行路線では、一部バス車両で運行している赤谷地区でも手帳提示により半額で運用をしており、紫雲寺地域でも同様にしたいと考えている。

手帳を提示した際の運賃の割引について、運用に地域差があることを課題として捉えている。

その後質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

5 その他

特になし

6 閉 会